

**地域公共交通計画（東京メトロ有楽町線の分岐線
（豊洲～住吉）の沿線地域）等の策定について**

江東区と東京都は、東京メトロ有楽町線（地下鉄8号線）の延伸（豊洲～住吉間）及び豊洲駅改良の整備促進を図るため、沿線地域を対象とした地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画を令和4年12月に策定した。

1 計画の構成

地域公共交通計画	地域公共交通利便増進実施計画
第1章 計画の目的等	第1章 基本的な方針
第2章 現状	第2章 地域公共交通利便増進事業を実施する区域
第3章 課題	第3章 内容及び実施主体
第4章 基本方針及び目標の設定	第4章 整備による効果
第5章 目標を達成するための取組	

2 計画の概要**（1）地域公共交通計画****①基本方針**

- ・東京メトロ有楽町線の延伸により、区内南北交通の整備による臨海地域とのアクセス利便性を向上させるとともに、鉄道空白地帯を解消し、鉄道ネットワークの拡充を図る。
- ・東京メトロ有楽町線の延伸により、東京メトロ東西線などの混雑緩和や鉄道ルート多重化によるリダンダンシーを確保し、鉄道ネットワークの強化を図る。

②目標及び取組み

- ・東京メトロ豊洲駅から東京メトロ住吉駅へのアクセス時間短縮及び東京メトロ東西線の混雑率緩和について、数値目標を設定する。
- ・目標を達成するための取組みとして、東京メトロ有楽町線の延伸及び豊洲駅改良を実施する。

（2）地域公共交通利便増進実施計画**①事業の内容及び実施主体**

- ・計画の対象事業は東京メトロ有楽町線の延伸及び豊洲駅の改良とし、いずれも東京メトロが実施する。
- ・事業の実施にあたり、東京メトロは国及び地方公共団体（東京都及び江東区）からの補助金（有楽町線延伸のみ）や国からの融資を受け、資金を調達する。

②整備効果

- ・臨海地域とのアクセス利便性向上が期待されるとともに、(仮称) 枝川駅及び(仮称) 千石駅の整備により鉄道空白地帯の解消が図られ、新駅周辺でのまちづくりの進展が期待される。
- ・周辺路線の混雑緩和とともに輸送障害時等における代替ルート確保が期待される。
- ・また、豊洲駅の改良により、ラッシュ時間帯の駅ホーム上の混雑が緩和されるとともに、エレベーターなどのバリアフリー設備充実による利便性向上等が期待される。

3 これまでの経過

- 令和4年10月 本委員会において両計画を策定する旨を報告
地域公共交通計画(案)に関する意見募集を実施
- 12月 両計画を策定及び公表
地域公共交通利便増進実施計画を国土交通大臣に認定申請
- 令和5年 1月 地域公共交通利便増進実施計画が国土交通大臣から認定

【参考】地域公共交通計画(案)に関する意見募集の結果

募集期間：令和4年10月26日から11月24日まで

意見数：21件

主な意見と回答(要旨)

主な意見	回答
周辺路線の乗降人員の推移は、2020年度の数値も掲載すべき。	追記いたしました。
住吉駅構内に乗換えの設備(エスカレーター、エレベーター等)を整備してほしい。	駅のレイアウトは、鉄道利用者の安全や利便性を考慮し、東京メトロが検討しており、ご意見として伝えます。
・駅の出入口はホーム両端から、前方と後方に設置してほしい。 ・住吉駅の出入口の拡充を検討してほしい。	駅の出入口は、鉄道利用者の利便性を考慮し、各種法令に準拠した上で、東京メトロが検討していきます。東京メトロへご意見として伝えます。
・ユニバーサルデザインを考慮した駅的设计が必要である。 ・視覚障害者ために、ホームドアの設置をしてほしい。	全ての鉄道利用者が安心して鉄道を利用できるよう、東京メトロはバリアフリー化に取り組んでおり、ご意見として伝えます。